

電気ストーブの出火事例（洗濯物）

火災概要

共同住宅の居室内で、使用していた電気ストーブ（ハロゲンヒーター）が付近に置いてあった衣類等に着火し床面の一部が燃えた「建物火災」で、家人が燃えているハロゲンヒーター及び衣類をベランダに移動させ、バケツに水を汲み数回掛けて消火したものです。なお、負傷者等は発生していません。

原因概要

本件火災の原因は、家人が仕事から帰宅し、洗濯物を取り込んだところ、洗濯物が乾いていなかったため、居室内でハロゲンヒーターを点け、その前で衣類を乾かそうとし、衣類がハロゲンヒーターの前面ガード部に接触していたため、衣類が燃え上がったものです。



ハロゲンヒーターも炎を出さないからと言って安心していませんか？

ハロゲンヒーターのように炎が出ない暖房器具では、使用する側も炎にはならないだろうと、安心して使用してしまい、大丈夫だろうと気が緩みがちです。

ハロゲンヒーターは、800Wで使用していると、ヒーター（石英管）付近の温度が約800℃に達しますので、その付近に衣類や紙類が接触すると、時間経過と共に火災へと発展してしまうのです。

（類似火災を防ぐには）

- (1) ストーブの周辺には十分な保有空間を開け、就寝時は出来るだけ使用しない。
- (2) ストーブの上部には、洗濯物等、落下の恐れがあるものは置かない。
- (3) 使用中に異音や異臭を感じたら使用を止めメーカーに相談する。
- (4) 使用中はその場から離れない。
- (5) 安定した床面で使用する。
- (6) 取扱説明書をよく読み、安全に使用する。



…火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。…